

**HIKVISION**



ネットワークビデオレコーダー  
クイックスタートガイド

**Made in China**

UD02353B

# 目次

<b>第 1 章</b>	<b>パネル概要</b> .....	<b>7</b>
1.1	フロントパネル.....	7
1.1.1	DS-9600NI シリーズ.....	7
1.1.2	DS-8600NI-I8 シリーズ.....	11
1.1.3	DS-8600NI および DS-7700NI シリーズ.....	15
1.1.4	DS-7600NI シリーズ.....	17
1.2	背面パネル.....	17
1.2.1	DS-9600NI および DS-8600NI シリーズ.....	17
1.2.2	DS-7700NI シリーズ.....	19
1.2.3	DS-7600NI シリーズ.....	20
<b>第 2 章</b>	<b>設置と接続</b> .....	<b>23</b>
2.1	ネットワークビデオレコーダー(NVR)の設置.....	23
2.2	ハードディスクの装着.....	23
2.2.1	DS-9600NI シリーズ.....	23
2.2.2	その他のモデル.....	25
2.3	接続.....	27
2.3.1	アラーム入力の配線.....	27
2.3.2	アラーム出力の配線.....	27
2.3.3	アラームコネクタの利用.....	28
2.3.4	コントローラー接続.....	28
2.4	HDD ストレージ計算表.....	29
<b>第 3 章</b>	<b>メニュー操作</b> .....	<b>30</b>
3.1	メニュー構造.....	30
3.2	起動とシャットダウン.....	30
3.3	本機の起動.....	31
3.4	ログイン用解錠パターンの使用について.....	32
3.5	ログインとログアウト.....	33
3.5.1	ユーザログイン.....	33
3.5.2	ユーザーログアウト.....	34
3.6	セットアップウィザードの使用.....	34
3.7	ネットワーク設定.....	35
3.8	IP カメラの追加.....	36
3.9	ライブビュー.....	37
3.10	ワンタッチ RAID 設定.....	38
3.11	録画設定.....	39
3.12	再生.....	40
<b>第 4 章</b>	<b>ウェブブラウザによるアクセス</b> .....	<b>42</b>

## クイックスタートガイド

禁・複製 ©2016 Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd.

### 無断複写転載等の禁止。

文章、画像、図表を含むすべての情報は、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその子会社 (以下、「Hikvision」とする) の所有するものとします。本ユーザーマニュアル (以下、「本マニュアル」とする) は、Hikvision の事前の書面による許可なく、部分的または全体的にかかわらず再生産、変更、翻訳または配布できないものとします。特に規定されていない限り、Hikvision は明示の有無によらず本マニュアルに関する補償は行いません。

### 本マニュアルについて

本マニュアルはネットワークビデオレコーダー (NVR) に適用されます。

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明のみを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されることがあります。最新版は当社 Web サイトを参照してください (<http://overseas.hikvision.com/en/>)。

専門の技術者の指導の下で本ユーザーマニュアルをご利用ください。

### 商標に関する確認

**HIKVISION** およびその他 Hikvision の商標およびロゴは、様々な裁判管轄地域においても Hikvision の所有物です。以下に示されたその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所有物です。

### 法的免責事項

適用法により許容される範囲内で、記載の製品とそのハードウェア、ソフトウェアおよびファームウェアは、あらゆる不具合やエラーを含め、そのままの形で提供されるものとし、HIKVISION では明示の有無によらず一切の保証 (性能、品質、特定の目的に対する適合性および第三者の権利非侵害を含みますが、これらに限定しない) を行いません。HIKVISION およびその取締役、役員、従業員または代理人は、本製品の利用に関連する事業利益の損失や事業妨害、データや文書の損失に関する損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して、たとえ HIKVISION がそれらについて通知を受けていたとしても、一切の責任を負いません。

インターネットアクセスを伴う製品に関して、当該製品の一切の使用はお客様自身の責任によるものとします。HIKVISION は、異常操作、プライバシー漏えいまたはサイバー攻撃、ハッキング、ウィルス検査やその他のセキュリティリスクから生じるその他の損害に対して一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じて HIKVISION は適宜技術サポートを提供します。

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。本製品のご使用前に、使用地の裁判管轄地域におけるすべての関連法を確認して、必ず適用法に準拠するように利用してください。本製品が不正な目的で使用された場合に、HIKVISION は責任を負わないものとします。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、後者が優先されます。

## 規制情報

### FCC 情報

規制順守担当筋より明示的に承認されていない変更または改造を行うと、本装置を操作するユーザの権利が無効になることがあります。

**FCC 準拠:** 本装置は連邦通信委員会 (FCC) 規則第 15 条の基準に基づくクラス A デジタル機器です。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、有害な干渉に対して適切な保護を提供するように設計されています。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書に従って取り付けおよび使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。住宅地域でこの装置を運用する場合、有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザー側の負担で干渉に対処する必要があります。

### FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール Part 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件に従うものとします。

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2. このデバイスは、望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含んだあらゆる干渉受信を受容しなければならない。

### EU 適合宣言



本製品および同梱の周辺機器（適用可能な場合）には「CE」マークが付いており、EMC 指令 (2014/30/EU)、LVD 指令 (2014/35/EU)、および RoHS 指令 (2011/65/EU) に掲げる適用可能な欧州統一基準に準拠します。



2012/19/EU (WEEE 指令): この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。詳細については次の URL を参照してください。 [www.recyclethis.info](http://www.recyclethis.info)



2006/66/EC (バッテリー指令): 本製品には、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については次の URL を参照してください。 [www.recyclethis.info](http://www.recyclethis.info)

### カナダ産業省 ICES-003 準拠

本装置は CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A) 基準要件を満たしています。

## 該当モデル




本マニュアルは次のテーブルに列挙したモデルに適用されます。

シリーズ	型式
DS-9600NI-I8	DS-9608NI-I8
	DS-9616NI-I8
	DS-9632NI-I8
	DS-9664NI-I8
DS-9600NI-I16	DS-9616NI-I16
	DS-9632NI-I16
	DS-9664NI-I16
DS-8600NI-I8	DS-8608NI-I8
	DS-8616NI-I8
	DS-8632NI-I8
	DS-8664NI-I8
DS-7600NI-I2	DS-7608NI-I2
	DS-7616NI-I2
	DS-7632NI-I2
DS-7600NI-I2/P	DS-7608NI-I2/8P
	DS-7616NI-I2/16P
	DS-7632NI-I2/16P
DS-7700NI-I4	DS-7708NI-I4
	DS-7716NI-I4
	DS-7732NI-I4
DS-7700NI-I4/P	DS-7708NI-I4/8P
	DS-7716NI-I4/16P
	DS-7732NI-I4/16P
DS-8600NI-K8	DS-8608NI-K8
	DS-8616NI-K8
	DS-8632NI-K8
DS-7700NI-K4	DS-7708NI-K4
	DS-7716NI-K4
	DS-7732NI-K4
DS-7700NI-K4/P	DS-7708NI-K4/8P
	DS-7716NI-K4/16P

	DS-7732NI-K4/16P
DS-7600NI-K2	DS-7608NI-K2
	DS-7616NI-K2
	DS-7632NI-K2
DS-7600NI-K2/P	DS-7608NI-K2/8P
	DS-7616NI-K2/16P
	DS-7632NI-K2/16P
DS-7600NI-K1	DS-7604NI-K1
	DS-7608NI-K1
	DS-7616NI-K1
DS-7600NI-K1/4P	DS-7604NI-K1/4P

## 記号の定義

本書で使用されている記号は以下のように定義されます。

記号	説明
 注記	本文中の重要点を強調したりそれを補う追加情報を提供します。
 警告	潜在的に危険となりうる状況を表しており、防止できなかった場合、機器の損傷、データの消失、性能劣化など、予測不能な結果が生じる可能性があります。
 危険	防止できなかった場合、死亡したり重傷を負いかねない危険を表します。

## 安全上の指示

- すべてのパスワードやその他のセキュリティの適切な設定は、設置者および/またはエンドユーザーの責任です。
- 製品の使用にあたって、国や地域の電気の安全性に関する法令に厳密にしたがう必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。
- 入力電圧は、IEC60950-1 基準に従い、SELV（安全超低電圧）および 100～240 VAC または 12 VDC の有限電源を満たす必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。
- アダプターの過負荷によりオーバーヒートや火災の危険性があるため、1つの電源アダプターに複数のデバイスを接続しないでください。
- プラグがしっかりと電源ソケットに接続されていることを確認してください。
- デバイスから煙や臭い、騒音が発生した場合、すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。

## 予防および注意に関するヒント

デバイスを接続して操作する前に、以下のヒントをご確認ください。

- ユニットが風通しのよい、ほこりのない環境に設置されていることをご確認ください。
- ユニットは屋内専用に設計されています。
- 液体の近くで本機を使用しないでください。
- 環境条件が工場仕様を満たしていることをご確認ください。
- ユニットがラックや棚に適切に固定されていることをご確認ください。落下によるユニットへの主な衝撃や振動は、内部の繊細な電子機器に損害を与える可能性があります。
- できれば無停電電源装置（UPS）と併用してください。
- ユニットの電源を切ってから、周辺機器の接続や切断を行ってください。
- 工場推奨の HDD を本デバイスに使用してください。
- バッテリーの不適切な使用や交換を行うと、爆発の危険性があります。同一または同等のタイプのものだけ交換してください。バッテリーのメーカーによって提供された指示にしたがって、使用済みバッテリーを処分してください。

## 第1章 パネル概要

### 1.1 フロントパネル

#### 1.1.1 DS-9600NI シリーズ

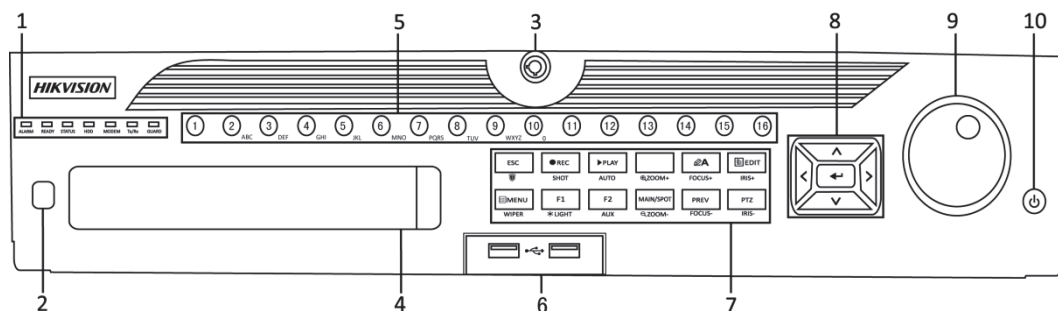


図 1-1 DS-9600NI-I8 シリーズ

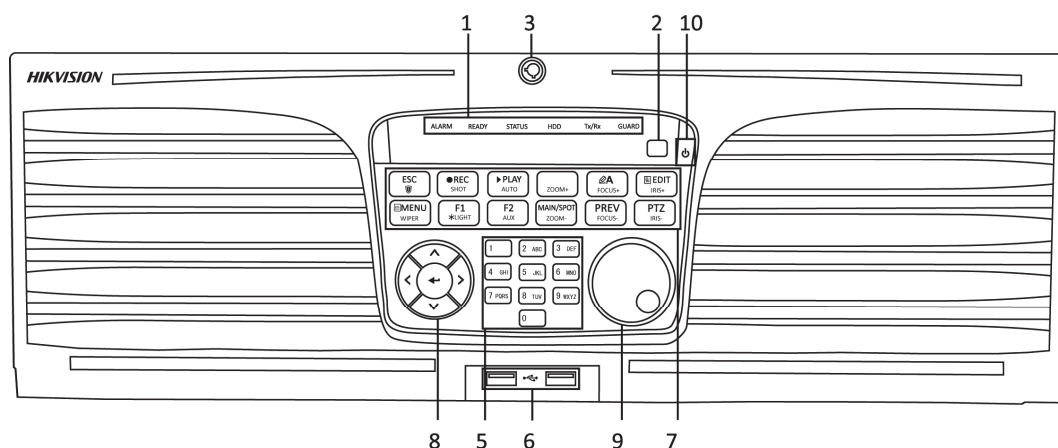


図 1-2 DS-9600NI-I16 シリーズ



表 1-1 パネルの説明

番号	名前	機能説明	
1	状態インジケータ	アラーム	センサアラームが検知された際に赤くなります。
		準備完了	デバイスが正常動作している場合には青くなります。
		状態	デバイスが IR リモートで操作されている時は青くなります。
			キーボードで操作されている時は赤くなり、IR リモートとキーボードが同時に使用されている時は紫になります。
		HDD	HDD にデータを書き込む間やそこからデータを読み出す間、赤で点滅します。
		モデム	今後使用するために保存されています。
		Tx/Rx	ネットワーク接続が正常に機能していると、青色に点滅します。
ガード	本機が警戒状態になると青色で点灯します。異常な出来事が検出されるとアラームが起動されます。		
	警戒が解除されると消灯します。ライブビューモードで ESC ボタンを 3 秒以上長押しすると、警戒/警戒解除状態を変更できます。		
2	IR レシーバー	IR リモコン受信機です。	
3	フロントパネルロック	鍵でパネルの施錠と解錠をします。	
4	DVD-R/W	DVD-R/W ディスクのロットです。	
5	英数ボタン	ライブビューや PTZ コントロールモードで対応するチャンネルに切り替えます。	
		編集モードでは数字や文字が入力されます。	
		再生モードでは異なるチャンネル間の切替が行なえます。	
		対応するチャンネルで録画されている間、青色に点灯します。チャンネルがネットワーク送信状態になると赤色に変わり、録画・送信状態になるとピンク色に点灯します。	
6	USB インターフェイス	USB マウスや USB ハードディスクドライブ (HDD) のような追加デバイス用のユニバーサルシリアルバス (USB) ポート。	

番号	名前	機能説明	
7	コンポジットキー	ESC	前のメニューに戻ります。 ライブビューモードでは、押すたびに警戒と警戒解除が切り替わります。
		録画/ショット	手動録画設定メニューへ。
			PTZ コントロール設定でこのボタンを押してから、数字ボタンを押すと、PTZ プリセットが呼び出せます。
			再生モードでは音声のオンオフが切り替わります。
		再生/オート	再生モードに進みます。
			PTZ コントロールメニューで自動的にスキャンを行いません。
		ズーム+	PTZ コントロール設定では PTZ カメラがズームインします。
		A/フォーカス+	PTZ コントロールメニューではフォーカスが調整できます。
			入力方法 (アルファベットの大文字と小文字、記号、数字の入力) を切り替えます。
		編集/アイリス+	テキストフィールドを編集します。テキストフィールドを編集する際には、カーソルの前の文字を削除します。
			チェックボックスフィールドのチェックボックスにマークを入れます。
			PTZ コントロールモードではカメラの絞りが調整されます。
			再生モードでバックアップ用のビデオクリップを作成します。
			USB デバイスや eSATA HDD のフォルダに出入りします。
		メイン/スポット/ズーム-	メイン出力とスポット出力を切り替えます。
			PTZ コントロールモードでは画像がズームアウトされます。
		F1/照明	リストフィールドで使用する際には、リストのアイテムがすべて選択されます。
			PTZ コントロールモードで PTZ ライト (利用できる場合) を点灯または消灯させます。
再生モードでは、再生と逆再生の切替に使用します。			

番号	名前		機能説明
8	操作ボタン	F2/補助	タブページを切り替えます。
			同期再生モードではチャンネル間を切り替えます。
		メニュー/ワイパー	メインメニューに戻ります（ログイン成功後）。ボタンを5秒間長押しするとキーアラート音が停止します。
			PTZコントロールモードではワイパーが起動します（対応している場合）。
			再生モードでは、コントロールインターフェイスを表示または非表示します。
		プレビュー/フォーカス-	シングルスクリーンモードとマルチスクリーンモードを切り替えます。
			PTZコントロールモードでは、A/フォーカス+ボタンと一緒に使用してフォーカス調整に使用します。
		PTZ/絞り-	PTZコントロールモードに進みます。
			PTZコントロールモードでは、PTZカメラの絞りを調整します。
		方向	メニューで異なるフィールドや項目を切り替えることができます。
			再生モードでは、上および下ボタンを使って録画されたビデオのスピードを上げたりスローにすることができます。左および右ボタンを使って次または前のビデオファイルを選択します。
			ライブビューモードではチャンネルを切り替えることができます。
PTZコントロールモードではPTZカメラの動きが制御できます。			
あらゆるメニューモードで選択肢を確定します。			
チェックボックスフィールドをチェックします。			
再生モードではビデオの再生、再生中のビデオの一時停止を行います。			
シングルフレーム再生モードではコマずつ進めることができます。			
自動切り替えモードでは自動切換を停止/起動します。			
入力	あらゆるメニューモードで選択肢を確定します。		
	チェックボックスフィールドをチェックします。		
	再生モードではビデオの再生、再生中のビデオの一時停止を行います。		
	シングルフレーム再生モードではコマずつ進めることができます。		
	自動切り替えモードでは自動切換を停止/起動します。		

番号	名前	機能説明
9	ジョグシャトル操作	メニュー内でアクティブな選択肢が上下に移動します。
		ライブビューモードでは種々のチャンネルを切り替えることができます。
		再生モードでは、ビデオファイルを 30 秒ずつ前後へジャンプさせることができます。
		PTZ コントロールモードでは PTZ カメラの動きが制御できます。
10	電源 ON/OFF	ボタンを 3 秒以上長押しすることで NVR の電源オン/オフができます。

### 1.1.2 DS-8600NI-I8 シリーズ

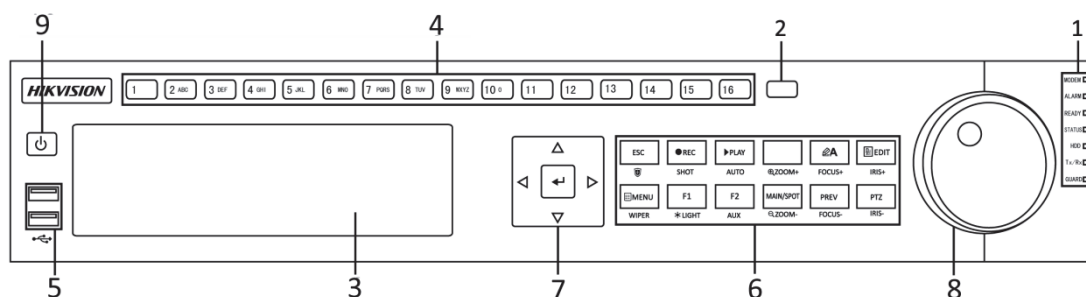


図 1-3 DS-8600NI-I8 シリーズ

表 1-2 コントロールパネルボタンの説明

番号	名前	機能説明	
1	状態インジケータ	アラーム	センサアラームが検知された際に赤くなります。
		準備完了	デバイスが正常動作している場合には青くなります。
		状態	デバイスが IR リモートで操作されている時は青くなります。
			キーボードで操作されている時は赤くなり、IR リモートとキーボードが同時に使用されている時は紫になります。
		HDD	HDD にデータを書き込む間やそこからデータを読み出す間、赤で点滅します。
		モデム	今後使用するために保存されています。
		Tx/Rx	ネットワーク接続が正常に機能していると、青色に点滅します。
ガード	本機が警戒状態になると青色で点灯します。異常な出来事が検出されるとアラームが起動されます。		

番号	名前		機能説明
			警戒が解除されると消灯します。ライブビューモードで ESC ボタンを 3 秒以上長押しすると、警戒/警戒解除状態を変更できます。
2	IR レシーバー		IR リモートのレシーバー
3	DVD-R/W		DVD-R/W 用のスロット。
4	英数ボタン		ライブビューや PTZ コントロールモードで対応するチャンネルに切り替えます。
			編集モードでは数字や文字が入力されます。
			再生モードでは異なるチャンネル間の切替が行なえます。
			対応するチャンネルで録画されている間、青色に点灯します。チャンネルがネットワーク送信状態になると赤色に変わり、録画・送信状態になるとピンク色に点灯します。
5	USB インターフェイス		USB マウスや USB ハードディスクドライブ (HDD) のような追加デバイス用のユニバーサルシリアルバス (USB) ポート。
6	コンポジットキー	ESC	前のメニューに戻ります。
			ライブビューモードでは、押すたびに警戒と警戒解除が切り替わります。
		録画/ショット	手動録画設定メニューへ。
			PTZ コントロール設定でこのボタンを押してから、数字ボタンを押すと、PTZ プリセットが呼び出せます。
			再生モードでは音声のオンオフが切り替わります。
		再生/オート	再生モードに進みます。
			PTZ コントロールメニューで自動的にスキャンを行いません。
		ズーム+	PTZ コントロール設定では PTZ カメラがズームインします。
		A/フォーカス+	PTZ コントロールメニューではフォーカスが調整できます。
			入力方法 (アルファベットの大文字と小文字、記号、数字の入力) を切り替えます。
編集/アイリス+	テキストフィールドを編集します。テキストフィールドを編集する際には、カーソルの前の文字を削除します。		
	チェックボックスフィールドのチェックボックスにマークを入れます。		

番号	名前	機能説明
		PTZ コントロールモードではカメラの絞りが調整されます。
		再生モードでバックアップ用のビデオクリップを作成します。
		USB デバイスや eSATA HDD のフォルダに出入りします。
	メイン/スポット/ズーム-	メイン出力とスポット出力を切り替えます。
		PTZ コントロールモードでは画像がズームアウトされます。
	F1/照明	リストフィールドで使用する際には、リストのアイテムがすべて選択されます。
		PTZ コントロールモードで PTZ ライト (利用できる場合) を点灯または消灯させます。
		再生モードでは、再生と逆再生の切替に使用します。
	F2/補助	タブページを切り替えます。
		同期再生モードではチャンネル間を切り替えます。
	メニュー/ワイパー	メインメニューに戻ります (ログイン成功後)。
		ボタンを 5 秒間長押しするとキーアラート音が停止します。
		PTZ コントロールモードではワイパーが起動しません (対応している場合)。
		再生モードでは、コントロールインターフェイスを表示または非表示します。
	プレビュー/フォーカス-	シングルスクリーンモードとマルチスクリーンモードを切り替えます。
PTZ コントロールモードでは、A/フォーカス+ボタンと一緒に使用してフォーカス調整に使用します。		
PTZ/絞り-	PTZ コントロールモードに進みます。	
	PTZ コントロールモードでは、PTZ カメラの絞りを調整します。	

番号	名前		機能説明		
7	操作ボタ ン	方向	メニューで異なるフィールドや項目を切り替えることができます。		
			再生モードでは、上および下ボタンを使って録画されたビデオのスピードを上げたりスローにすることができます。左および右ボタンを使って次または前のビデオファイルを選択します。		
			ライブビューモードではチャンネルを切り替えることができます。		
				入力	PTZ コントロールモードでは PTZ カメラの動きが制御できます。
			あらゆるメニューモードで選択肢を確定します。		
			チェックボックスフィールドをチェックします。		
			再生モードではビデオの再生、再生中のビデオの一時停止を行います。		
			シングルフレーム再生モードでは一コマずつ進めることができます。		
			自動切り替えモードでは自動切換を停止/起動します。		
8	ジョグシャトル操作		メニュー内でアクティブな選択肢が上下に移動します。		
			ライブビューモードでは種々のチャンネルを切り替えることができます。		
			再生モードでは、ビデオファイルを 30 秒ずつ前後へジャンプさせることができます。		
			PTZ コントロールモードでは PTZ カメラの動きが制御できます。		
9	電源 ON/OFF		電源 on/off スイッチ。		

### 1.1.3 DS-8600NI および DS-7700NI シリーズ

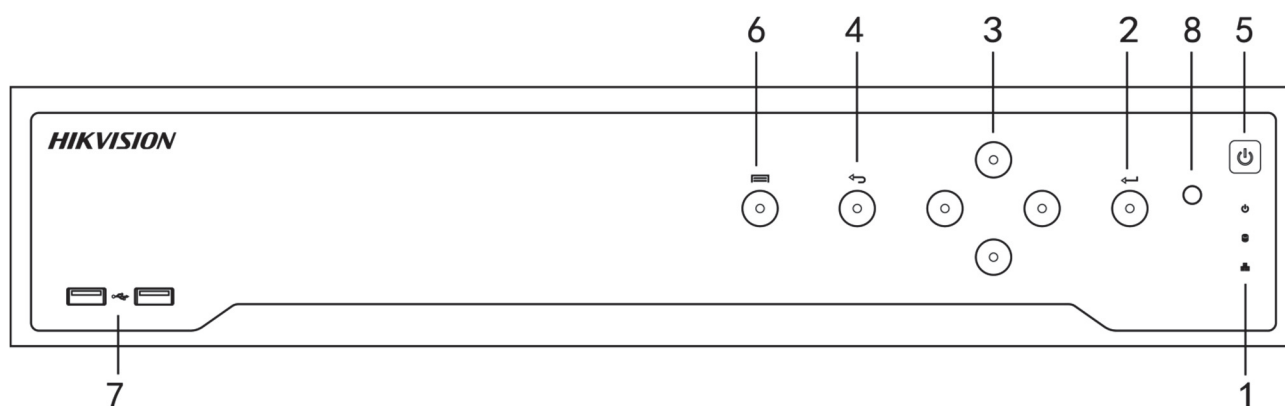


図 1-4 DS-8600NI-K8 シリーズ

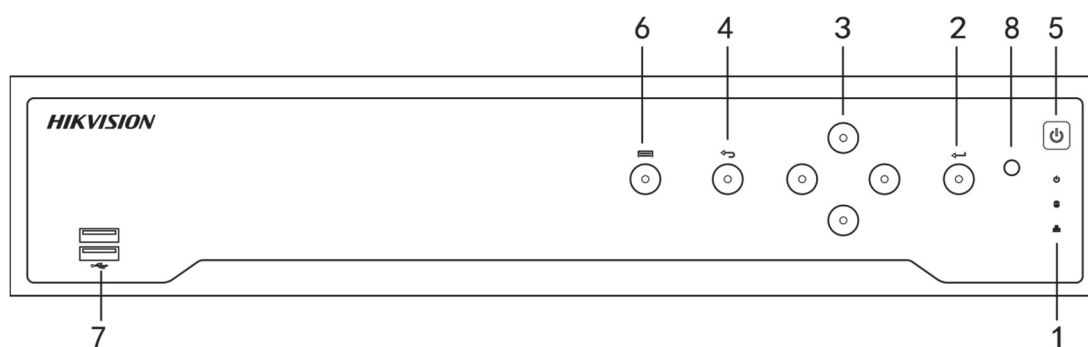


図 1-5 DS-7700NI シリーズ



表 1-3 パネルの説明

番号	名前	機能説明	
1	状態インジケータ	電源	NVR の電源が入っている時は緑になります。
		HDD	HDD の読み書き中は、赤色で点滅します。
		Tx/Rx	ネットワーク接続が正常に機能している場合、緑色で点滅します。
2	入力	入口ボタンは、メニューモードでの選択の確認や、チェックボックスフィールドのチェック、ON/OFF スイッチに使用します。	
		再生モードでは、ビデオの再生や一時停止に使用できます。	
		シングルフレーム再生モードで入口ボタンを押すと、シングルフレームごとにビデオを再生します。	
		オートシーケンスビューモードでは、オートシーケンスの一時停止や再開に使用できます。	
		入口ボタンは、メニューモードでの選択の確認や、チェックボックスフィールドのチェック、ON/OFF スイッチに使用します。	
3	方向	メニューモードでは、方向ボタンは別のフィールドとアイテムの移動や設定パラメータの選択に使用します。	
		再生モードでは、上下ボタンは録画再生の早送りやスロー再生に使用し、左右ボタンは 30 秒ごとの前後へのジャンプに使用します。	
		画像設定インターフェイスでは、上下ボタンで画像パラメータのレベルバーを調整できます。ライブビューモードでは、チャンネルの切替に使用できます。	
4	戻る	前のメニューに戻ります。	
5	電源 ON/OFF	電源 on/off スイッチ。	
6	メニュー	メインメニューインターフェイスにアクセスします。	
7	USB インターフェイス	USB マウスや USB ハードディスクドライブ(HDD) のような追加デバイス用のユニバーサルシリアルバス (USB) ポート。	

## 1.1.4 DS-7600NI シリーズ

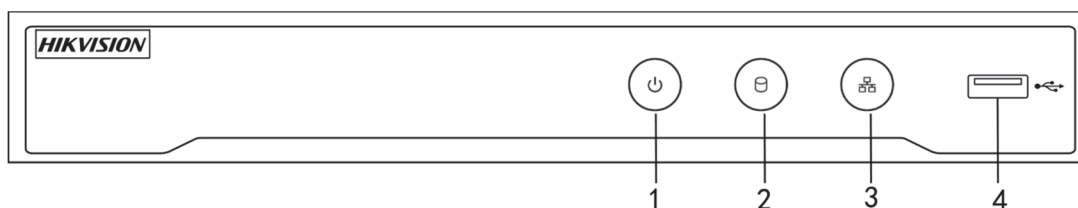


図 1-6 DS-7600NI シリーズ

表 1-4 パネルの説明

番号	名前	接続
1	電源	NVR の電源が入っている時は緑になります。
2	HDD	HDD にデータを書き込む間やそこからデータを読み出す間、赤で点滅します。
3	Tx/Rx	ネットワーク接続が正常に機能していると、青色に点滅します。
4	USB インターフェイス	USB マウスや USB ハードディスクドライブ (HDD) のような追加デバイス用のユニバーサルシリアルバス (USB) ポート。

## 1.2 背面パネル

### 1.2.1 DS-9600NI および DS-8600NI シリーズ

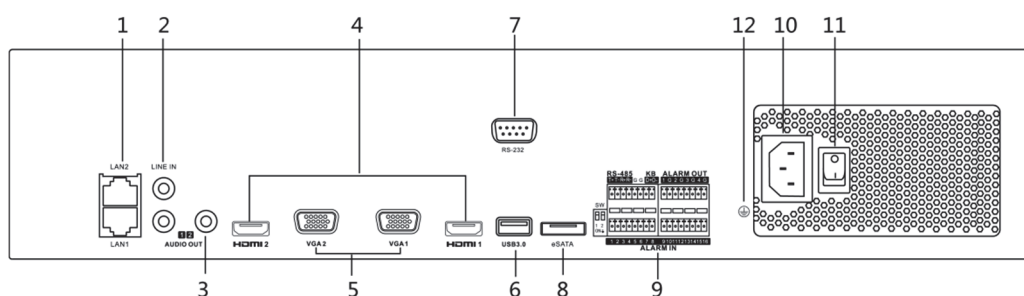


図 1-7 DS-9600NI-I8 および DS-8600NI シリーズ

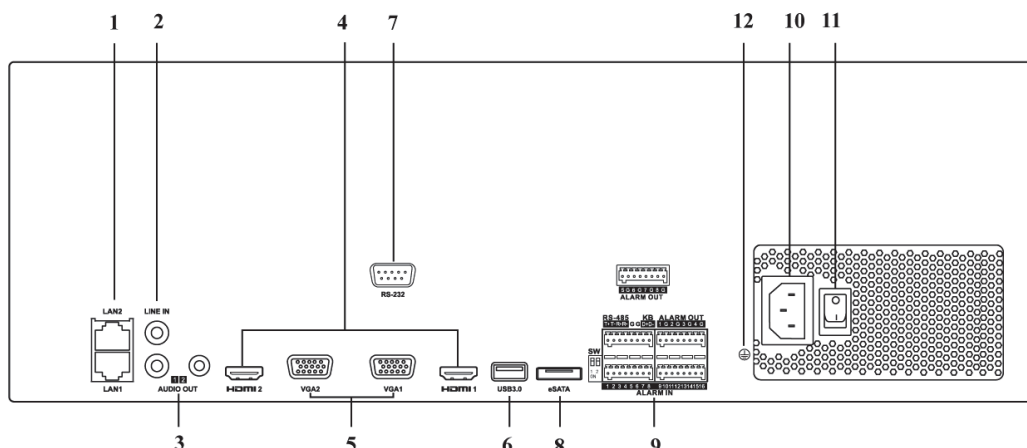


図 1-8 DS-9600NI-I16 シリーズ

表 1-5 パネルの説明

番号	名前	説明
1	LAN1/LAN2 インターフェイス	2 個の RJ-45 10/100/1000 Mbps 自動認識型イーサネットインターフェイスを搭載。
2	ライン入力	音声入力用 RCA コネクタ。
3	音声出力	オーディオ出力用の RCA コネクタ 2 個
4	HDMI1/HDMI2	HDMI ビデオ出力コネクタ。
5	VGA1/VGA2	VGA 出力用 DB9 コネクタ。ディスプレイローカルビデオ出力とメニュー。
6	USB 3.0 インターフェイス	USB マウスや USB ハードディスクドライブ (HDD) のような追加デバイス用のユニバーサルシリアルバス (USB) ポート。
7	RS-232 インターフェイス	RS-232 デバイス用コネクタ。
8	eSATA	外部 SATA HDD、CD/DVD-RM を接続します。
9	コントローラーポート	D+、D-ピンをコントローラーの Ta、Tb ピンに接続します。カスケードデバイスでは、最初の NVR の D+、D-ピンを次の NVR の D+、D-ピンに接続する必要があります。
	アラーム入力	アラーム入力用コネクタ。
	アラーム出力	アラーム出力用コネクタ。
10	100~240 VAC	100~240 VAC 電源。

番号	名前	説明
11	電源スイッチ	デバイスを on/off するスイッチ。
12	グラウンド	アース接続 (NVR 起動時に接続している必要があります)。

### 1.2.2 DS-7700NI シリーズ

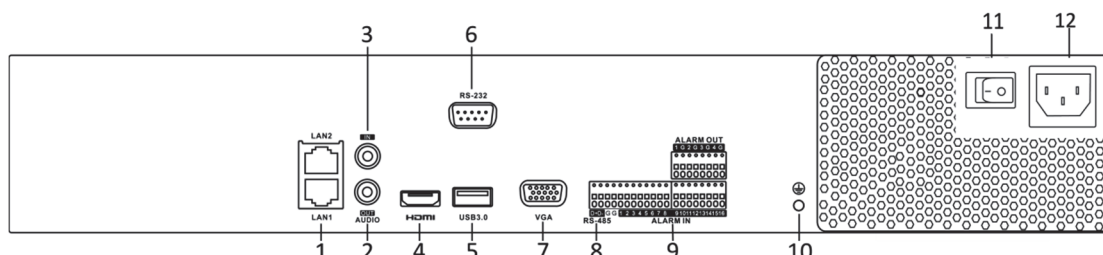


図 1-9 DS-7700NI-I4 および DS-7700NI-K4 シリーズ

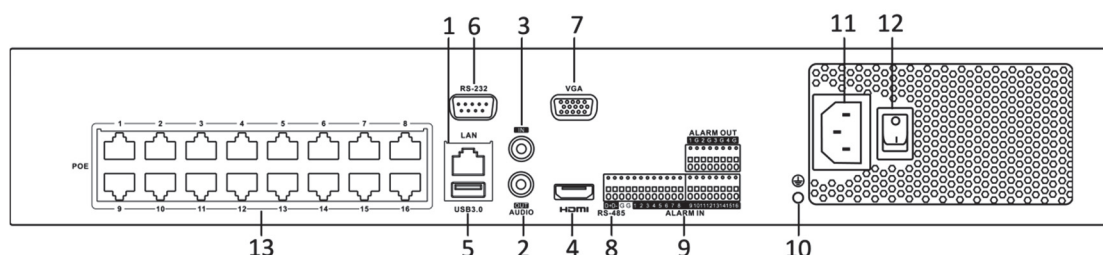


図 1-10 DS-7700NI-I4/16P および DS-7700NI-K4/16P シリーズ

#### 注記

DS-7708NI-I4/8P および DS-7708NI-K4/8P は PoE 機能付き 8 個のネットワークインターフェイスを提供します。

表 1-6 パネルの説明

番号	名前	説明
1	LAN インターフェイス	DS-7700NI-I4/P および DS-7700NI-K4/P 用に 1 ネットワークインターフェイス、DS-7700NI-I4 および DS-7700NI-K4 用に 2 ネットワークインターフェイスを提供。
2	音声出力	音声出力用 RCA コネクタ。
3	ライン入力	音声入力用 RCA コネクタ。
4	HDMI	HDMI ビデオ出力コネクタ。

番号	名前	説明
5	USB 3.0 インターフェイス	USB マウスや USB ハードディスクドライブ(HDD) のような追加デバイス用のユニバーサルシリアルバス (USB) ポート。
6	RS-232 インターフェイス	RS-232 デバイス用コネクタ。
7	VGA	VGA 出力用 DB9 コネクタ。ディスプレイローカルビデオ出力とメニュー。
8	RS-485 インターフェイス	RS-485 デバイス用の半二重コネクタ。
9	アラーム入力	アラーム入力用コネクタ。
	アラーム出力	アラーム出力用コネクタ。
10	グラウンド	アース接続 (NVR 起動時に接続している必要があります)。
11	AC 100V~240V	100V ~ 240VAC の電源。
12	電源スイッチ	デバイスを on/off するスイッチ。
13	PoE 機能付きネットワークインターフェイス (DS-7700NI-I4/P および DS-7700NI-K4/P によりサポートされる)	カメラ用ネットワークインターフェイスで、イーサネット経由で電力を供給します。

### 1.2.3 DS-7600NI シリーズ

#### DS-7600NI-I2(/P)および DS-7600NI-K2 (/P)

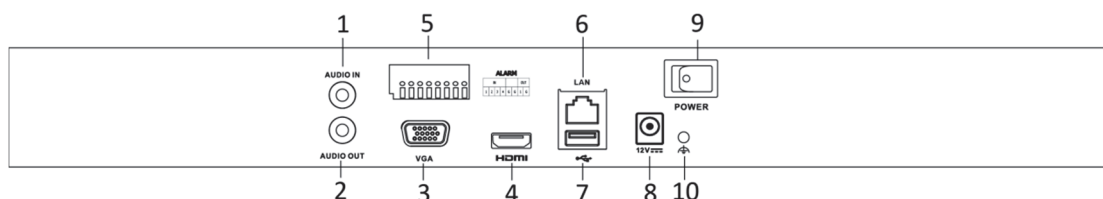


図 1-11 DS-7600NI-I2 および DS-7600NI-K2 シリーズ

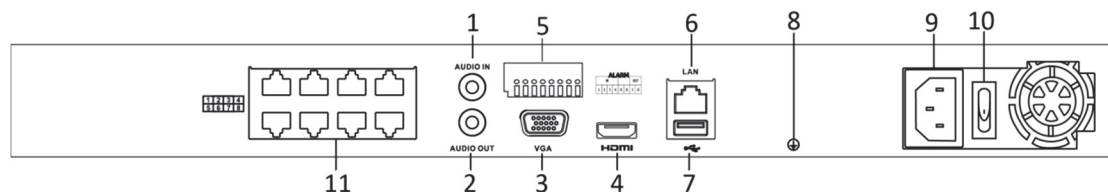


図 1-12 DS-7600NI-I2/8P および DS-7600NI-K2/8P シリーズ

**注記**

DS-7616NI-I2/16P および DS-7632NI-I2/16P には PoE 機能を備えた 16 のネットワークインターフェイスがあります。

パネル概要

表 1-7 パネルの説明

番号	名前	説明
1	音声入力	音声入力用 RCA コネクタ。
2	音声出力	音声出力用 RCA コネクタ。
3	VGA インターフェイス	VGA 出力用 DB9 コネクタ。ディスプレイローカルビデオ出力とメニュー。
4	HDMI インターフェイス	HDMI ビデオ出力コネクタ。
5	アラーム入力	アラーム入力用コネクタ。
	アラーム出力	アラーム出力用コネクタ。
6	LAN ネットワークインターフェイス	10/100/1000 Mbps 自動認識型イーサネットインターフェイス×1
7	USB インターフェイス	USB マウスや USB ハードディスクドライブ (HDD) のような追加デバイス用のユニバーサルシリアルバス (USB 3.0) ポート。
8	グラウンド	アース接続 (NVR 起動時に接続している必要があります)。
9	電源	DS-7600NI-I4 および DS-7600NI-K4 用 12 VDC 電源、DS-7600NI-I4/P および DS-7600NI-K4/P 用 100V ~ 240 VAC。
10	電源スイッチ	デバイスを on/off するスイッチ。
11	PoE 機能付ネットワークインターフェイス (DS-7600NI-I2/P で対応)	カメラ用ネットワークインターフェイスで、イーサネット経由で電力を供給します。

DS-7600NI-K1 および DS-7600NI-K1/4P

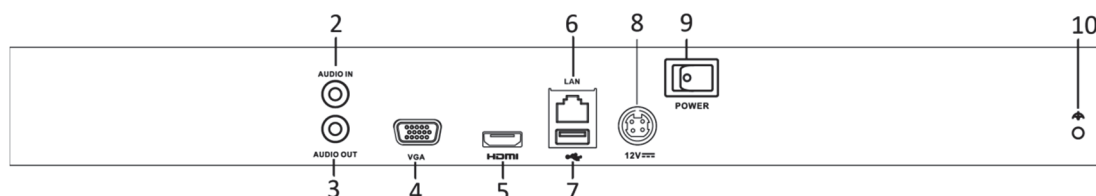


図 1-13 DS-7600NI-K1 シリーズ

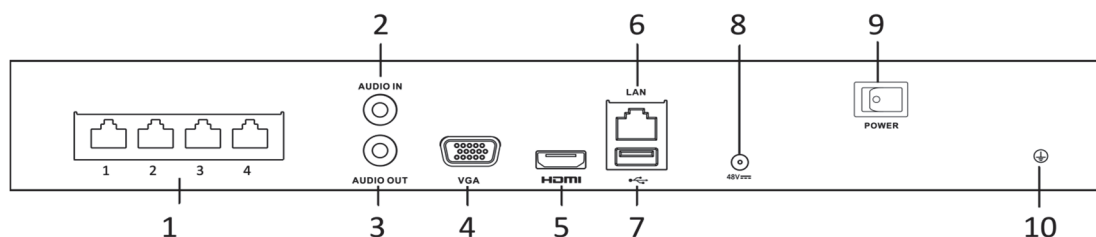


図 1-14 DS-7604NI-K1/4P シリーズ

表 1-8 パネルの説明

番号	名前	説明
1	PoE 機能付きネットワークインターフェイス	カメラ用ネットワークインターフェイスで、イーサネット経由で電力を供給します。
2	音声入力	音声入力用 RCA コネクタ。
3	音声出力	音声出力用 RCA コネクタ。
4	VGA インターフェイス	VGA 出力用 DB9 コネクタ。ディスプレイローカルビデオ出力とメニュー。
5	HDMI インターフェイス	HDMI ビデオ出力コネクタ。
6	LAN ネットワークインターフェイス	10/100/1000 Mbps セルフアダプティブイーサネット インターフェイス DS-7600NI-K1; DS-7600NI-K1/4P 用 1 100 Mbps 全二重イーサネットインターフェイス
7	USB インターフェイス	USB マウスや USB ハードディスクドライブ(HDD) のような追加デバイス用のユニバーサルシリアルバス (USB 3.0) ポート。
9	電源	DS-7600NI-K1 用 12VDC 電源および DS-7600NI-K1/4P 用 48 VDC 電源
10	グラウンド	アース接続 (NVR 起動時に接続している必要があります)。

## 第2章 設置と接続

### 2.1 ネットワークビデオレコーダー(NVR)の設置

NVR の設置に際して:

- ラック取付にはブラケットを使用します。
- オーディオ及びビデオケーブルに十分なスペースを確保してください。
- 配線時に、ケーブルの曲げ半径が線径の 5 倍未満にならないようにします。
- アラームケーブルを接続します。
- ラック取付デバイスの間隔は最低 2cm(≈0.75 インチ)空けるようにしてください。
- NVR がアース接続されていることを確認します。
- 環境温度は-10 から+55° C の範囲を維持してください。
- 環境湿度は 10% ~ 90%の範囲にします。

### 2.2 ハードディスクの装着

始める前に:

NVR の電源を切断してから、ハードディスクドライブ(HDD)を装着してください。この設置手順では工場推奨 HDD を使用してください。

必要な工具: ドライバー

#### 2.2.1 DS-9600NI シリーズ

目的:

次の節では、DS-9600NI-I8 および DS-9600NI-I16 シリーズ NVR 用 HDD を紹介します。DS-9616NI-I16 シリーズを例に、取付手順を説明します。

ステップ 1: ハードディスク取付ハンドルをハードディスクにネジで固定します。



図 2-1 ハードディスク固定



ステップ 2: 鍵を差し込み、時計回りにまわしてパネルロックを開きます。



図 2-2 パネルキーの挿入

ステップ 3: 両側面のボタンを押して、フロントパネルを開きます。

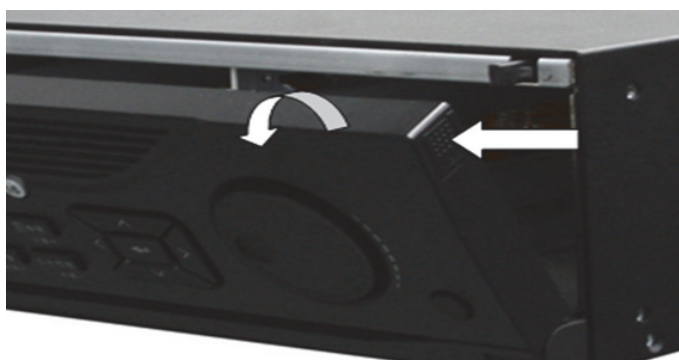


図 2-3 パネルロックを開く

ステップ 4: ハードディスクをスロットに挿入して定位置に収めます。

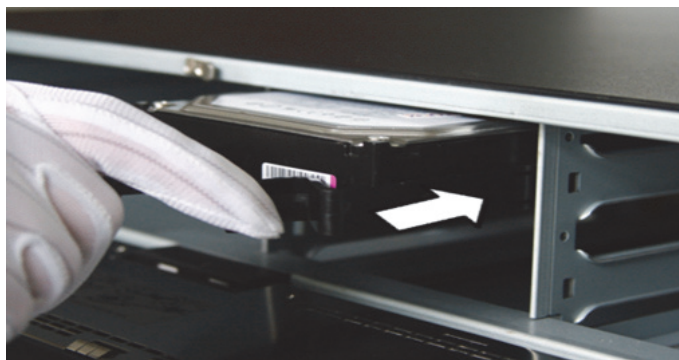


図 2-4 ハードディスクの挿入

ステップ 5: 上記の手順を繰り返して NVR に他のハードディスクを設置します。すべてのハードディスクの設置が完了したら、フロントパネルを閉じて、再度施錠します。



図 2-5 ロックパネル

## 2.2.2 その他のモデル

目的:

次の節では、DS-7600NI および DS-7700NI シリーズの NVR への HDD の取付について説明します。DS-7600NI を例に取付手順を説明します。

ステップ 1: 背面および側面パネルのネジを緩めて、NVR からカバーを取り外します。



図 2-6 カバーの取り外し

ステップ 2: データケーブルの一端を NVR のマザーボードに、もう一端を HDD に接続します。

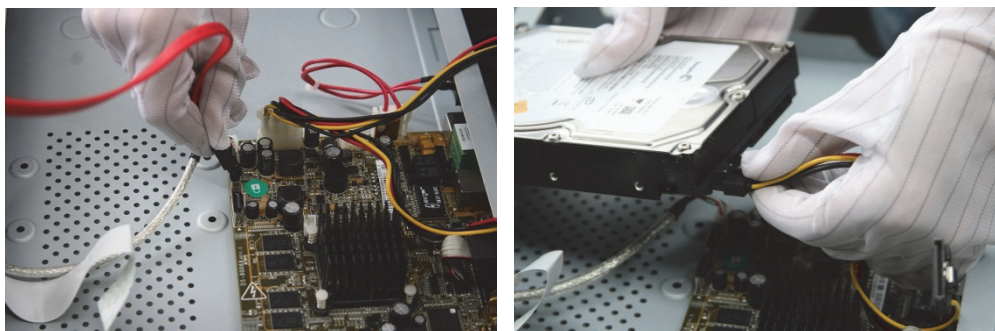


図 2-7 データケーブルの接続

ステップ 3: 電源ケーブルを HDD に接続します。



図 2-8 電源ケーブルの接続

ステップ 4: デバイスの下部に HDD を配置し、底面のネジを締めて HDD を固定します。



図 2-9 ハードディスクの固定

## 2.3 接続

### 2.3.1 アラーム入力の配線

アラーム入力はオープン/クローズリレーです。デバイスにアラーム入力を接続するには、以下の図を使用してください。

 **注記**

アラーム入力がオープン/クローズリレーではない場合、アラーム入力とデバイスの外部リレーを接続してください。

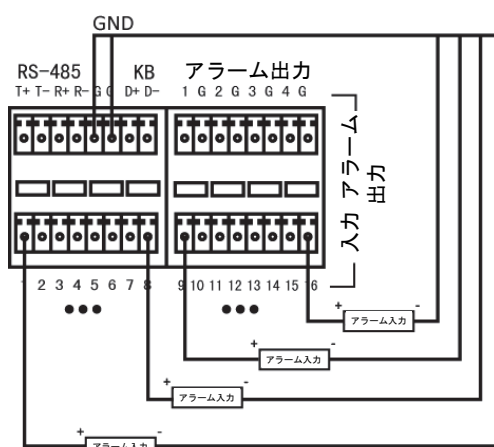


図 2-10 アラーム入力配線

### 2.3.2 アラーム出力の配線

アラーム出力(AC または DC 負荷)に接続するには、以下の図を使用してください:

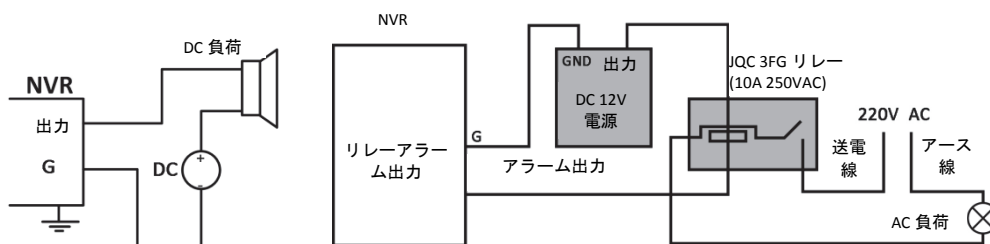


図 2-11 アラーム出力配線

DC 負荷では、12V/1A 以内でジャンパーを安全に使用できます。

AC 負荷接続には、ジャンパーを開いたままにする必要があります(NVR のマザーボードでジャンパーを取り外す必要があります)。安全のために外部リレーを使用してください(上の図表の通り)。

マザーボードには 4 つのジャンパー(JP6、JP9、JP10、JP11)があり、それぞれ 1 つのアラーム出力に対応しています。デフォルトでは、ジャンパーが接続されています。AC 負荷接続には、ジャンパーを取り外す必要があります。

例:

NVR の出力 3 を AC 負荷に接続する場合、JP3 ジャンパーを取り外す必要があります。

### 2.3.3 アラームコネクタの利用

アラームデバイスを NVR に接続する方法:

ステップ 1: アラーム入力/アラーム出力端子台から接続可能なブロックを切断します。

ステップ 2: 接続可能なブロックから止めネジを緩めて、信号ケーブルをスロットに差し込み、止めネジを締めます。信号ケーブルがしっかりと装着されていることを確認してください。

ステップ 3: 端子台に接続可能なブロックを差し込みます。

### 2.3.4 コントローラー接続

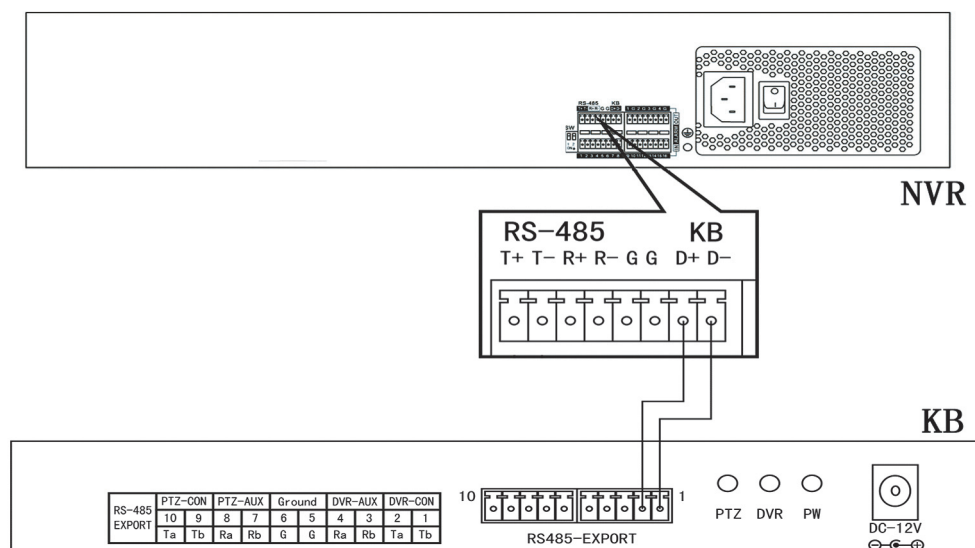


図 2-12 コントローラー接続

コントローラーを NVR に接続するには:

ステップ 1: KB 端子台から接続可能なブロックを切断します。

ステップ 2: KB D+、D-の接続可能なブロックから止めネジを緩めて、信号ケーブルをスロットに差し込み、止めネジを締めます。信号ケーブルが固定されていることを確認します。

ステップ 3: コントローラーの Ta を端子台の D+に、コントローラーの Tb を端子台の D-に接続します。止めネジを締めます。

ステップ 4: 端子台に接続可能なブロックを差し込みます。

#### 注記

コントローラーと NVR 両方がアース接続されていることをご確認ください。



## 2.4 HDD ストレージ計算表

以下の表は、固定ビットレートで1時間1チャンネルで使用される推定ストレージ容量を示しています。

ビットレート	使用ストレージ
96K	42M
128K	56M
160K	70M
192K	84M
224K	98M
256K	112M
320K	140M
384K	168M
448K	196M
512K	225M
640K	281M
768K	337M
896K	393M
1024K	450M
1280K	562M
1536K	675M
1792K	787M
2048K	900M
4096K	1.8G
8192K	3.6G
16384K	7.2G

### 注記

使用ストレージ容量の値は参考にとどめておいてください。表内のストレージの値は計算式によって推定されており、実測値から逸脱するものがある場合があります。

## 第3章 メニュー操作

### 3.1 メニュー構造

メニュー構造については以下の図を参照してください:

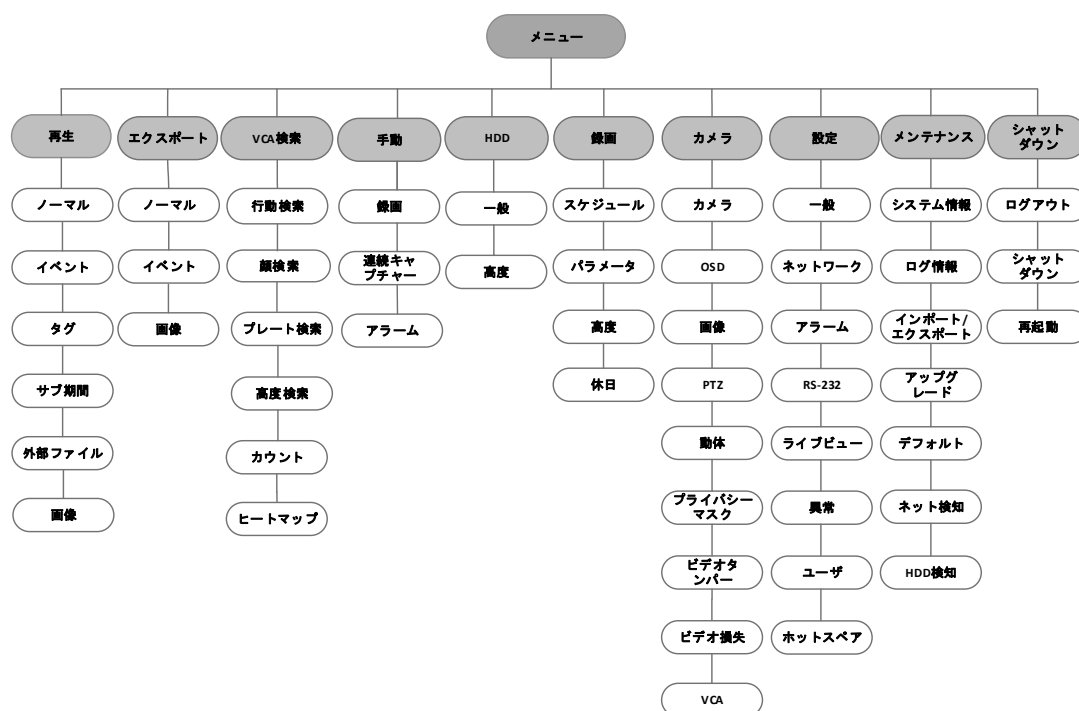


図 3-1 メニューの構造

#### 注記

メニュー構造はモデルごとに異なる場合があります。

### 3.2 起動とシャットダウン

適切な起動とシャットダウンの手順が、NVR の寿命を延ばすためには重要です。

NVR を起動するには:

ステップ 1: 電源がコンセントに差し込まれていることを確認します。無停電電源装置 (UPS) をデバイスとの接続に使用することを強く推奨します。フロントパネルの電源ボタンが赤色で点灯します。これは本機に電源が供給されていることを示しています。

ステップ 2: フロントパネルの電源ボタンを押します。電源 LED が青色に変化します。ユニットが起動し始めます。

本機が起動したら、ウィザードによって、パスワードの変更、日付と時刻の設定、ネットワークの設定、HDD の初期化、録画など、初期設定の方法が指示されます。

NVR をシャットダウンするには:

ステップ 1: シャットダウンメニューを開きます。

メニュー > シャットダウン

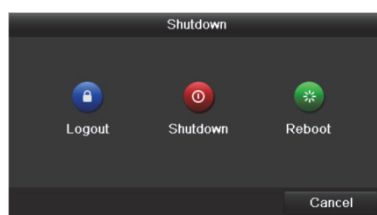


図 3-2 シャットダウン

ステップ 2: シャットダウンボタンを選択します。

ステップ 3: はいをクリックします。

### 3.3 本機の起動

目的:

初回アクセスでは、管理者パスワードを設定してデバイスをアクティベートする必要があります。アクティベートするまでは、どの操作も不可となります。本機は、インターネットブラウザ、SADP、クライアントソフトウェアでも起動できます。

ステップ 1: 新パスワードの作成と新パスワードの確認のテキストフィールドに同じパスワードを入力します。

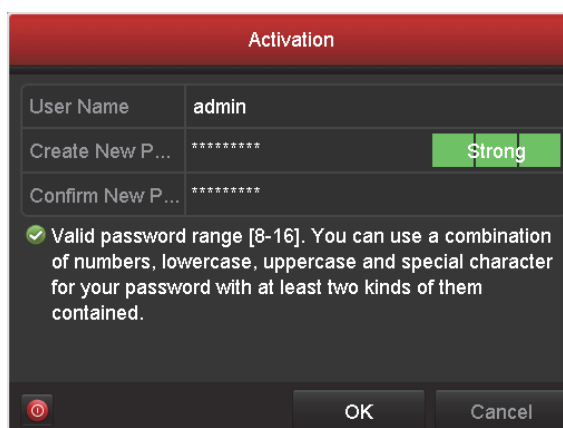


図 3-3 管理者パスワードの設定



**警告**

**強力なパスワードを推奨** 製品のセキュリティを高めるため、ご自分で選択した強力なパスワード (大文字、小文字、数字、特殊記号のうち、少なくとも 3 つのカテゴリで構成された文字を 8 文字以上含むパスワード) を設定するよう強くお勧めします。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティ システムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

ステップ 2: OK をクリックしてパスワードを保存し、デバイスをアクティベートします。

**注記**

旧バージョン機の場合、新バージョンにアップグレードすると、起動時に下のダイアログボックスが現れます。はいをクリックし、ウィザードを進めて強力なパスワードを設定できます。

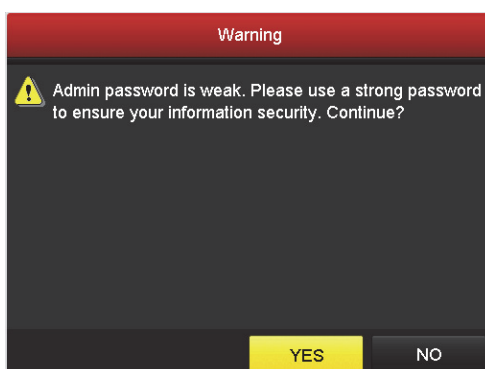


図 3-4 脆弱なパスワードに関する警告

### 3.4 ログイン用解錠パターンの使用について

管理ユーザは、デバイスログイン用の解錠パターンが登録できます。

デバイスが起動したら、次のインターフェイスからデバイスの解錠パターンが変更できます。

ステップ 1: 画面上の 9 つのドットをつなぐようにマウスを動かしてパターンを作ります。パターンが書けたらマウスを離します。

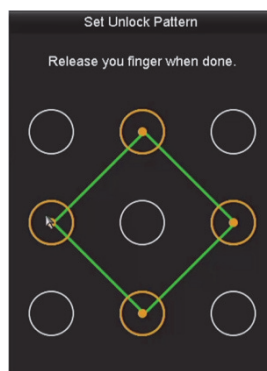


図 3-5 パターンの描画

 注記

- パターン内のドットは最低4つつないでください、
- 各ドットは1回しか通れません。

ステップ 2: 同じパターンをもう一度書いて、確定します。二つのパターンが合致すれば、パターンが設定できたことになります。

ステップ 3: 設定した解錠パターンは次回のログインから使用できます。

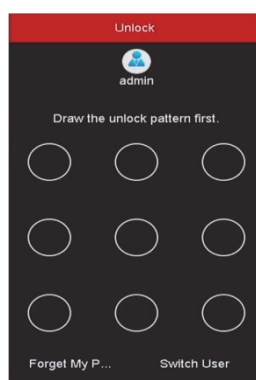


図 3-6 解錠パターンの描画

## 3.5 ログインとログアウト

### 3.5.1 ユーザログイン

**目的:**

NVR がログアウトした場合、メニューやその他の機能进行操作する前にログインする必要があります。

ステップ 1: ドロップダウンリストでユーザー名を選択します。

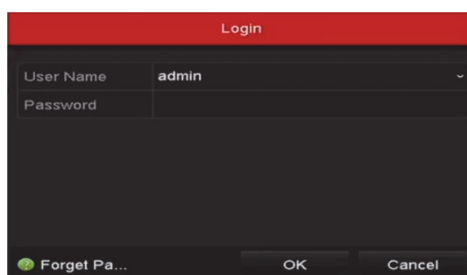


図 3-7 ログイン

ステップ 2: パスワードを入力します。

ステップ 3: OK をクリックしてログインします。

 注記

ログインダイアログボックスに間違ったパスワードを7回入力すると、現在のユーザーアカウントが60秒間ロックされます。

### 3.5.2 ユーザーログアウト

目的:

モニターは、ログアウト後にライブビューモードになります。操作をしたい場合にはユーザー名とパスワードをもう一度入力する必要があります。

ステップ 1: シャットダウンメニューを開きます。

メニュー > シャットダウン

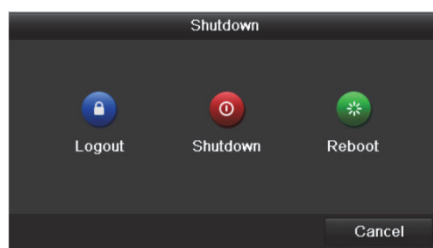


図 3-8 ログアウト

ステップ 2: ログアウトをクリックします。

 注記

システムからログアウトすると、画面でのメニュー操作は無効になります。システムを解除するにはユーザー名とパスワードの入力が必要です。

## 3.6 セットアップウィザードの使用

セットアップウィザードを使用して本機の重要な設定を行なうことができます。デフォルトでは、本機がロードされるとセットアップウィザードが起動されます。

本機が起動したらチェックボックスにマークを入れてセットアップウィザードを有効にします。次へをクリックし、セットアップウィザードを続行します。セットアップウィザードの指示に従ってシステム解像度、システムの日付/時刻、ネットワークの設定、HDDの管理、録画の設定などを設定します。

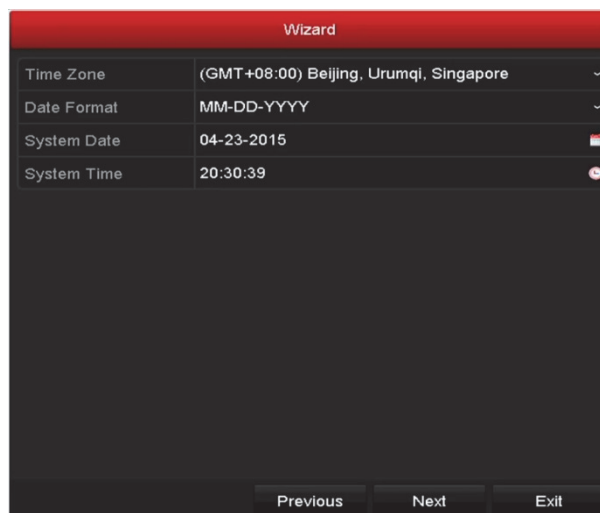


図 3-9 ウィザード

## 3.7 ネットワーク設定

目的:

NVR をネットワーク経由で使用する前にネットワーク設定を適切に設定する必要があります。

ステップ 1: ネットワーク設定インターフェイスを開きます。

メニュー > 設定 > ネットワーク

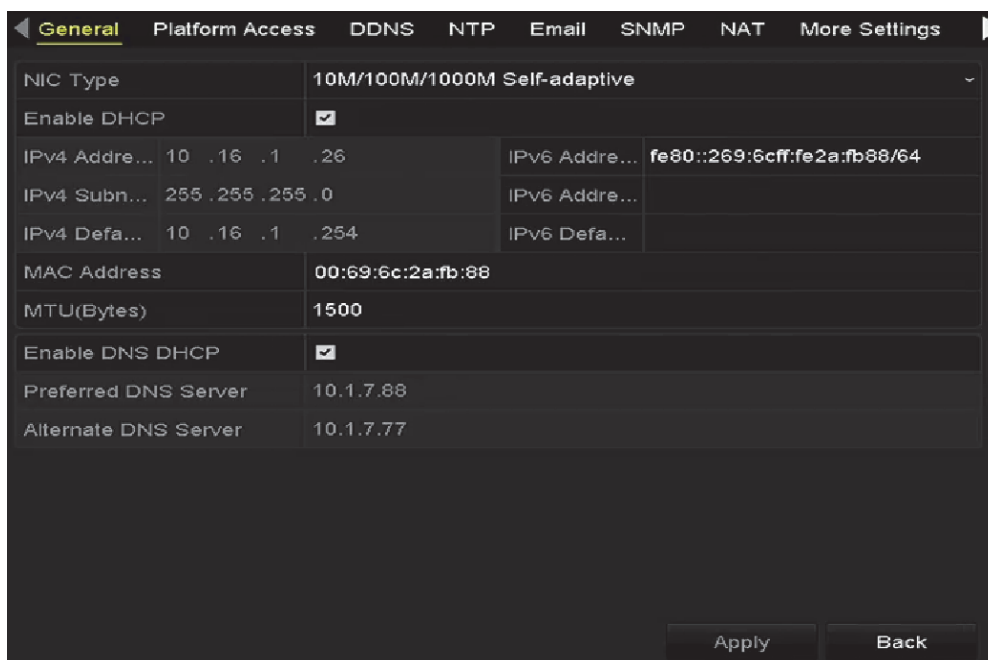


図 3-10 ネットワーク設定

 注記

- DS-9600NI-I8 およびに DS-9600NI-I16、DS-8600NI-K8、DS-7700NI-I4、DS-7700NI-K4 用セルフアダプティブ 10M/100M/1000M ネットワークインターフェイス。複数アドレスのネットワーク故障耐性モードが設定できます。
- DS-7600NI-K2/I2(/P)、DS-7700NI-I4/P、DS-7700NI-K4/P 用セルフアダプティブ 10M/100M/1000M ネットワークインターフェイス。
- DS-7600NI-K1 (/P)用セルフアダプティブ 10M/100M ネットワークインターフェイス。

ステップ 2: 一般タブを選択します。

ステップ 3: 一般設定インターフェイスで、次の設定が行えます。NIC タイプ、IPv4 アドレス、IPv4 ゲートウェイ、MTU、DNS サーバー。

ステップ 4: DHCP サーバーを使用できる場合、DHCP のチェックボックスを選択して、そのサーバーから IP アドレスとその他のネットワーク設定を自動取得できます。

ステップ 5: 一般設定が完了したら適用ボタンをクリックして設定を保存します。

## 3.8 IP カメラの追加

目的:

ライブビデオを取得したりビデオファイルを録画するには、本機の接続リストにネットワークカメラを追加する必要があります。

始める前に:

ネットワーク接続が有効で正しく、追加する IP カメラをすでにアクティベートしていることをご確認ください。非アクティブな IP カメラのアクティベートについてはユーザーマニュアルを参照してください。

IP カメラを追加するには、以下の 3 つのオプションのうち 1 つを選択できます。

- オプション 1:

ステップ 1: ライブビューモードで待機中のウィンドウをクリックして選択します。


ステップ 2: ウィンドウの中央にある  アイコンをクリックすると、[IP カメラの追加] インターフェイスが現れます。



図 3-11 IP カメラの追加

ステップ 3:検出された IP カメラを選択してから、**追加**ボタンをクリックして直接追加すると、**検索**ボタンをクリックして手動でオンライン IP カメラを更新できます。

もしくは、対応するテキストフィールドでパラメータを編集し、**追加**ボタンをクリックして追加すると、IP カメラをカスタム追加することができます。

### 3.9 ライブビュー

ライブビューモードでは画面上のアイコンによってカメラのステータスが表示されます。これらのアイコンは以下のとおりです:

#### ライブビューアイコン

ライブビューモードでは各チャンネルの画面の右上にアイコンが表示され、録画ステータスおよびチャンネルのアラームが簡単に参照できるようになっています。



アラーム (ビデオロス、タンパー、動体検知、VCA またはセンサアラーム)



録画 (マニュアル録画、連続録画、動体検知、VCA またはアラーム起動録画)



アラームおよび録画



イベント/異常 (イベントおよび異常に関する情報で、画面左下に表示されます。)

## 3.10 ワンタッチ RAID 設定

### 注記

RAID は DS-9600NI-I8 および DS-9600NI-I16 シリーズ NVR のみ。

### 目的:

このデバイスは RAID ストレージ機能をサポートしています。ワンタッチ設定で、素早くディスク配置を作成できます。デフォルトでは、作成する配置タイプは RAID 5 です。

### 始める前に:

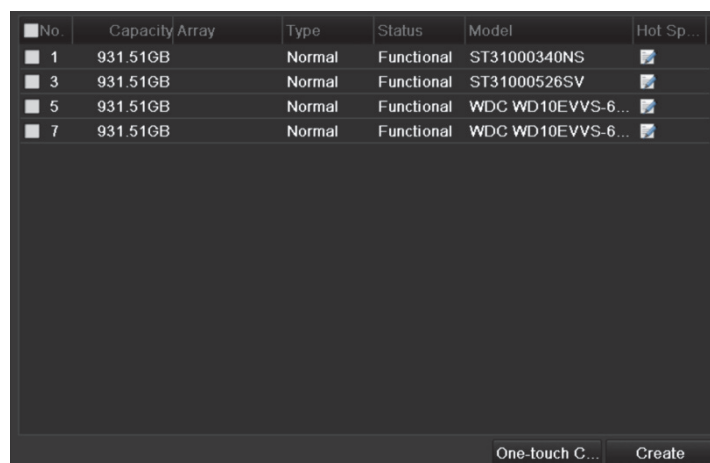
デフォルトのアレイタイプが RAID 5 なので、最低 3 台の HDD をデバイスに設置する必要があります。また、10 台以上の HDD を設置している場合、2 つのアレイを設定できます。





### 注記

ディスクの信頼性向上と安定した稼働のため、アレイの作成と設定は、同じエンタープライズレベルの HDD（モデル、容量など）を使用することをお勧めします。

ステップ 1: 物理ディスク設定インターフェイスを開きます。

メニュー > HDD > RAID



No.	Capacity	Array	Type	Status	Model	Hot Sp...
1	931.51GB		Normal	Functional	ST31000340NS	
3	931.51GB		Normal	Functional	ST31000526SV	
5	931.51GB		Normal	Functional	WDC WD10EVVS-6...	
7	931.51GB		Normal	Functional	WDC WD10EVVS-6...	

One-touch C... Create

図 3-12 RAID 設定インターフェイス

ステップ 2: ワンタッチ設定をクリックしてワンタッチアレイ設定インターフェイスを開きます。

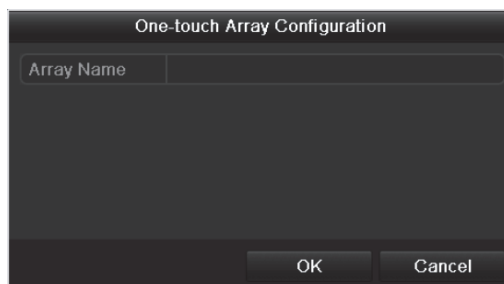


図 3-13 ワンタッチアレイ設定

ステップ 3: アレイ名のテキストフィールドでアレイの名前を編集し、OK ボタンをクリックしてアレイの設定を開始します。

### 注記

ワンタッチ設定時、HDD を 4 台以上装着している場合にはデフォルトでホットスペアディスクが 1 台設定されます。アレイに異常がある場合にアレイを自動再構築するためにホットスペアディスクを設定することを推奨します。

ステップ 4: アレイ設定が完了したら、ポップアップメッセージボックスの OK ボタンをクリックして設定を終了します。

## 3.11 録画設定

始める前に:

ディスクがインストールされていることを確認します。インストールされていない場合にはインストールして初期化してください。詳細についてはユーザーマニュアルを参照してください。

目的:

以下のセクションでは、インスタント録画と終日録画を含む 2 種類の録画タイプが紹介されています。その他の録画タイプに関する詳細はユーザーマニュアルを参照してください。

### 注記

再起動後、有効化されたすべてのマニュアル録画がキャンセルされます。

ステップ 1: ライブビューウィンドウで、ウィンドウを右クリックし、カーソルを録画の開始オプションに移動させて、希望にあわせて連続録画か動体検知録画を選択します。



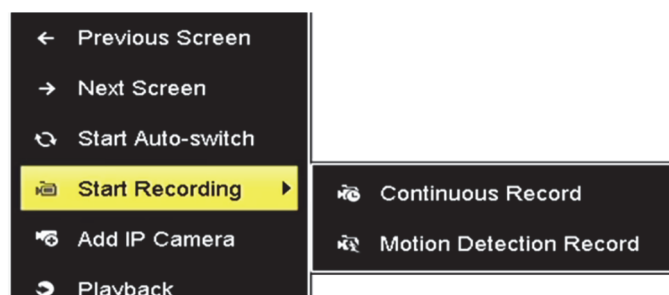


図 3-14 右クリックメニューから録画を開始する

ステップ 2: 「注意」ポップアップメッセージボックスではいボタンをクリックし、設定を確定します。選択されたモードで、全チャンネルの録画が開始されます。

## 3.12 再生

ハードディスク内の録画済ビデオファイルは、インスタント再生、指定されたチャンネルの終日再生、ノーマル/イベント/スマート/タグ/サブピリオド/外部ファイル検索ごとの再生の各モードで、再生できます。

ステップ 1: 再生インターフェイスを開きます。

[メニュー]>[再生] とクリックするか、右クリックメニューから選択します。

ステップ 2: チャンネルリストでチャンネルのチェックボックスを選択してから、カレンダーの日付をダブルクリックで選択します。

ステップ 3: 再生インターフェイスの一番下にあるツールバーで再生の進め方を制御することができます。



図 3-15 再生インターフェイス

ステップ 4: チャンネルまたは複数チャンネルの同時再生を選択してください。

## 第4章 ウェブブラウザによるアクセス

### 注記

インターネットアクセスを通じて製品を使用した場合と、ネットワークのセキュリティリスクがあることを承諾すると見なされます。ネットワーク攻撃や情報漏えいを回避するには、ご自身の保護対策を強化してください。製品が正常に動作しない場合、販売店やお近くのサービスセンターにご連絡ください。

### 目的:

ウェブブラウザ経由でデバイスにアクセスできます。次のウェブブラウザが使用可能です: Internet Explorer 6.0、Internet Explorer 7.0、Internet Explorer 8.0、Internet Explorer 9.0、Internet Explorer 10.0、Apple Safari、Mozilla Firefox、Google Chrome。対応解像度は 1024×768 以上です。

ステップ 1: ウェブブラウザを開き、デバイスの IP アドレスを入力してから Enter を押します。

ステップ 2: デバイスにログインします。

- デバイスがアクティベートされていない場合、ログインする前にまずアクティベートする必要があります。

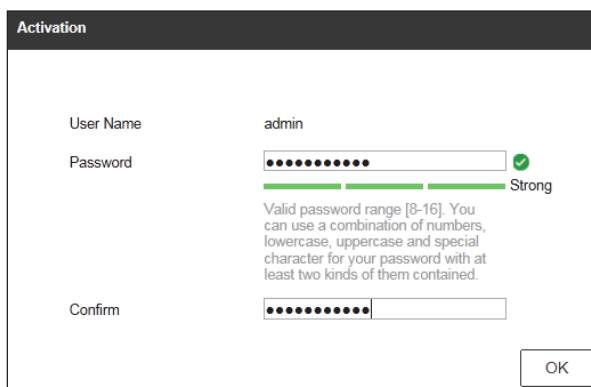


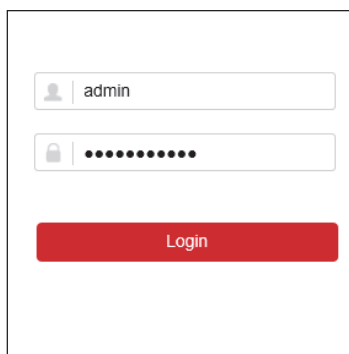
図 4-1 管理者パスワードの設定

- 1) 管理者ユーザーアカウントのパスワードを設定します。
- 2) OK をクリックしてデバイスにログインします。

### 警告

**強力なパスワード推奨**—製品のセキュリティ向上のために、ご自身で選択した強力なパスワード (最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含む) を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティ システムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

- デバイスがすでにアクティベートされている場合、ログインインターフェイスでユーザー名とパスワードを入力し、ログインボタンをクリックします。



The image shows a login form with two input fields and a button. The first field is for the username, containing the text 'admin'. The second field is for the password, with the characters masked by dots. Below the fields is a red button labeled 'Login'.

図 4-2 ログイン

---

ステップ 3: ライブビデオの表示やカメラの管理を行う前にプラグインをインストールします。インストールの指示に従い、プラグインをインストールします。

### 注記

プラグインのインストールを完了するために Web ブラウザを閉じなければならない場合があります。

ログイン後に、ライブビュー、再生、ログ検索、設定など、本機の操作や設定を実行することができます。



First Choice for Security Professionals